



## 第 35 回九州ジュニア選手権競技

競技報告 (2015/ 7. 23-24)

写真と記事 : M. Kikutake

### 晴れの優勝者

15～17 歳の部

男子 芹澤慈眼 (秀岳館高 1 年)

女子 大里桃子 (熊本国府高 2 年)



12～14 歳の部

男子 村上颯汰 (八代第二中 3 年)

女子 後藤未有 (沖学園中 3 年)

大分県竹田市の久住高原ゴルフ倶楽部 (男子 715 $\text{ヤ}$ 、女子 6392 $\text{ヤ}$ =パー72) で 7 月 23、24 日の両日行われた。優勝したのは 15～17 歳の部男子は芹澤慈眼 (秀岳館高 1 年)、同女子は大里桃子 (熊本国府高 2 年)、12～14 歳の部男子は村上颯汰 (八代第二中 3 年)、同女子は後藤未有 (沖学園中 3 年) で、いずれも初優勝だった。

出場したのは男子 15～17 歳の部が 51 人、同女子 39 人 (欠場 1 人)、12～13 歳の部男子 34 人、同女子 36 人。今大会から予選カット方式がとられ、初日の予選競技の結果、最終日の決勝ラウンド進出者 (15～17 歳の部男子 40 人、同女子 32 人、12～14 歳の部男子 28 人、同女子 28 人) を決めた。

今大会は各クラスとも力の差がなく、接戦。12～14 歳の部男子の村上は初日、全参加者中の唯一人のアンダーパー71 をマーク。2 位に 3 打差をつけての最終日だったが、76 とスコアを乱したものの、他も追い切れず、初日の貯金が効いて通算 3 オーバーで逃げ切った格好だ。

15～17 歳の部女子は初日、前年覇者の三浦桃香 (宮崎・日章学園高 2 年) がパープレーの 72 で 2 位タイに 3 打差をつける好スタートだったが、最終日乱れて 79 をたたいて後退。初日 2 位タイの大里がこの日 72 と手堅いプレーで通算 3 オーバー、147 とし、逆転での優勝を飾った。三浦は通算 7 オーバーの 6 位タイ。

## 3階級で熊本勢が優勝

このほか、15～17歳の部男子の芹澤は通算イーブンパーの144、12～14歳の部女子の後藤は通算5オーバーで、ともに初日2位（タイ）からの逆転V。また、4階級のうち3階級を熊本勢が制し、レベルの高さを見せつけた。

この試合の結果、日本ジュニア選手権（8月19～21日、埼玉県霞ヶ関CC）は15～17歳の部男子が上位16人、同女子11人、12～14歳の部男子は上位5人とシード2人、同女子は6人とシード1人が出場権を得た。



### 大里桃子 3打差を逆転

## 自分のプレースタイルを貫いてのタイトル奪取

同級生には、九州女子選手権や九州ジュニア、果ては日本ジュニアを制している勝みなみ（鹿児島高2年）、新垣比菜（沖縄・興南高2年）、三浦桃香、そして同じ熊本国府高の同学年、田中瑞希がいる。三浦を除いて彼女たちがいずれも不参加という大会ではあったが、一歩後れを取っていた大里桃子が、やっと追いついたという感じだった。

連覇を目指す首位の三浦に3打差の2位タイでのスタート。大里は前半、1バーディー、1ボギーのイーブンパーで回り、2ボギー、1ダブルボギーの40をたたいた三浦を逆転し1打差をつけてトップに立った。後半、三浦が先にバーディーを奪ったが、大里はすかさず取り返し、このあと三浦が2ボギー、1ダブルボギーと崩れ、すっかり楽になってのホールアウトだった。

“花の高2、”といわれてマスコミの注目を集める中で、「置いて行かれる気持ちにもなった」というのは正直なところだろう。しかし、大里は「自分のプレースタイルは変わらない。一歩ずつ積み上げるしかないと思っていた」という。

この日のプレーも、「いつもだったら前半で崩れることが多かったけど、気持ちの余裕が持てた」。負けることで積み重ねた経験と勉強。「欲しいタイトルだし、早めに追いついて…と思っていたが、相手が崩れてくれて楽になった」と振り返った。

「小学3年のころ、父に練習に連れられて行って始めたゴルフ」。しかし、これまで、ゴルフ一辺倒でもない。ミニバスケット陸上競技、水泳と幅広く取り組んできた。身長171cmはまだ伸びている育ちざかり。将来は、「安定して力が出せるようになれば、プロも…」というが、その足掛かりとなるのが日本ジュニアだろう。全国から集まる強豪の中で、どこまで通用するか、実力が試される夏になりそうだ。

**15～17歳男子初優勝の芹澤慈眼** 「ホームコースだけに絶対優勝したいと思っていた。パターが良ければあと2つ、3つは伸ばせた。九州ジュニアは大会3連覇を目指します。そして、今年の目標はプロのレギュラーツアーに出たいし、日本ジュニアで勝つことです」

**12～14歳男子初優勝の村上颯太** 「ショットがぶれていたし、余裕はありませんでした。気持ち的にはいっぱいだったけど、結構厳しいゴルフをしのげました。欲しかったタイトルだからうれしい。コースマネジメントの大事さを学んだし、日本ジュニアは初めてだけど、自分のベストを尽くしていきたい」

**12～14歳女子で初優勝の後藤未有** （3バーディー、3ボギー、1ダブルボギーの74で日本女子アマベスト4の佐渡山理莉＝沖縄・久志中3年＝に逆転勝ち）「大きく崩れず我慢のゴルフができました。日本ジュニアは昨年4位だったから、今年は優勝目指して頑張ります」